



テアトル9ニュース

お芝居大好き！九条の会
2015年2月3日 第61

お芝居大好き！九条の会～テアトル9 って何??

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き！九条の会～テアトル9」を作りました。

月1回世話人会を持ち、ニュースを発行しています。興味のある方は、一緒にしませんか？下記世話人までご連絡を！

☆☆☆ 平和を70年間保持してきたことを力に ☆☆☆ ～～～ テアトル9は今年10周年を迎えます！！ ～～～

本来ならば『少し遅くなりましたが明けましておめでとうございます』と言いたいところですが、安倍内閣の暴走がさらに加速しそうな2015年、『おめでとうございます』というのがなんとなくためられる気分の年明けです。でも、とにもかくにも今年もテアトル9をよろしく願います。

昨年12月は突然の総選挙でした。結果は「希望を持てた」or「失望した」どちらでしたか？思いはさまざまだと思いますが、選挙の結果がどうあれ、私たちテアトル9の一人一人はその思いをモチベーションにしてこれからも9条を守りぬくためにがんばっていただけです。私たちの目指す、「9条を守りぬく」そして「9条の破壊を許さない」という目標がこの選挙の結果で変わることはありません。

今年もテアトル9は健在です。私たちの「9条を守りぬく」、「9条の破壊を許さない」という思いは日本がどんな社会になったとしても終わることがありません。みんなで目標に向けて一步一步進んでいきましょう。私たちはまだまだゴールが遠い道の途中にいるのです。

こんなことを書いていたら、安倍総理が中東での人質事件に絡めて海外に自衛隊を派遣できる法律を整備しようとしているとのニュースが聞こえてきました。「テロに屈しない」と強調する安倍総理ですが、必要なのは「テロを生み出さない努力」ではないでしょうか。それは憲法9条の精神を世界に広めることです。今こそ日本が憲法9条を67年間保持してきたこと、そしてその精神を世界に訴えかけていくことが求められていると思います。(ちかまつ 松浪孝史)

26名の参加で“新年の集い”大盛況！

戦後70年、阪神淡路大震災20年の年がスタートしました。



戦後、ただの一度も戦争をしなかった私たちの国が、戦争をする国へと突き進むもうとしている2015年。あの大震災から20年。そういった年のせいでしょうか、予想を超えた大勢の人が参加した“新年の集い(1・17)”。年齢は30歳代から80歳代。持ち寄られた料理もお酒も豪勢でした。

はじめに、長久武司(ランドマーク、映画サークル副委員長)さんから「戦後70年、非核神戸方式40年、大震災20年」のお話がありました。中でも、忘れがちになっている「非核神戸方式40年」。40年間、米国の艦船が一度も神戸港に入港していない事実、神戸が平和都市を目指していく上でも、改めて胸に刻んでおきたいと思いました。

料理に、お酒に親しみながらの一人ひとりの新年のお話は、1月17日震災当時への想いがいっぱい詰まっいて、時間を制限しなければならなくなり、もっと聞きたかった、喋りたかったという名残りがつものとなりました。そして、この緊張と激動の年頭の盛会な集いは、私たちにたくさんの元気や勇気を与えてくれました。(Y)



調布9条の会 10周年に行ってまいりました！



1192人の方々が集まりました。池辺晋一郎氏のトークの中で ジェームス・三木氏の「憲法はまだか」が紹介され 現・平和憲法が アメリカの押し付けではなく時の宰相がマッカーサに戦争放棄 軍隊を持たない条項を 入れるよう 要請されています！歴史を捏造され続けた 敗戦70年です！！怖い事です。(伊藤昌博)

※伊藤さんは元俳優の舞台部の方で、1・17の時に激励にかけつけてくれました。



本の紹介

観客術3

言葉で伝える演劇

著者：平田 康

出版社：文理閣 ￥2000

神戸演劇鑑賞会(労演)元委員長が戯曲を読んでの講座を長年開催。その時に語った戯曲を9本選び今回本になりました。「観客術」のシリーズで3冊目。言葉にこだわった著者の思いが詰まった本です。

「九条の会」の呼びかけ人

奥平康弘さん(85歳)が1月26日逝去されました

「九条の会」事務局長・小森陽一氏の談話

「呼びかけ人の中で唯一の憲法学者だった。分かりやすく本質をつく言葉が印象的だった。亡くなる前日の都内であった座談会にも出席し、安倍政権が繰り返す『積極的平和主義』への懸念を示していたようだ。最後まで憲法9条のために発言を続けた。一緒に活動する自分たちにとって羅針盤だった。」 1月31日朝日新聞より

～ お芝居と平和 ⑩ ～

1970年代 宮本研の作品に教えられたこと

神戸勤労者演劇協議会(神戸労演)の時代から会員になり、現在まで40年以上色々な芝居を観てきました。その芝居を通して歴史、人間の生き様を教えられました。その中でも私にとって印象深いのは宮本研の『明治の柁』『夢・桃中軒牛衛門の』『美しきものの伝説』でした。そこには民衆が幸せに生きる時代を目指して、権力に立ち向かって行った若者たちの姿がありました。時代の先を歩く人間の寂しさを教えてくれたのは伊藤野枝(太地喜和子)、「寂しいな～」と白いパラソルを廻しながら歩く姿は今も目に浮かびます。当時、労演や組合の役員をしていた私にも、職場、鑑賞会を取り巻く社会の状況がわかりつつある頃で、野枝の気持ちが少しわかったような気がしたのを覚えています。

そして今、彼らが目指していた日本が実現したのかなと時々思うことがあります。戦後大きな代償と引き替えに、民主主義国家として歩いてきたのに、70年経って国民一人ひとりには本当変わったのかな・・・と。宮本研が描いた明治、大正、昭和の時代と社会のしくみ、民衆の意識は変わっていないのではと、ふと思います。

日本も世界も危うい状況の中で、どう時代を見ていくのか、それを教えてくれるのが芝居の世界のような気がします。もう一度、宮本研の作品の登場人物達に会ってみたいと思います。

(パピヨン 田中千津子)

例会場「テアトル9コーナー」

にお立ち寄りください！

テアトル9グッズのプラバン、また賛同者の方にはニュースをご用意しています。カンパも大歓迎！ご連絡は下記まで

児玉 090-8209-2391

米田 090-8658-8579

谷中 090-2101-4579

田中 090-8493-3378



お知らせ

テアトル9の新しいグッズ(缶バッジ)ができました！

2月例会場のテアトルコーナーに置いています。是非お立ち寄り下さい。